

基本情報

【受審事業所情報】

事業所名称	同胞保育園
運営法人名称	社会福祉法人 鹿児島県社会福祉事業団
福祉サービスの種別	保育所
代表者氏名	理事長 上荒磯 継男
管理者氏名	施設長 東郷 利子
定員	130人
事業所所在地	〒892-0819 鹿児島市 柳町 3番20号
電話番号	(099) 222-2654
FAX番号	(099) 222-2694
ホームページアドレス	<a href="http://www4.synapse.ne.jp/">http://www4.synapse.ne.jp/</a>
電子メールアドレス	douhouchild@po4.synapse.ne.jp

【評価機関情報】

第三者評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
鹿児島県認証番号	鹿児島 06-02号
訪問調査日	平成19年 3月 7日(水)
評価結果決定年月日	平成19年 6月 12日(火)
評価調査者氏名	

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する事業所の同意の有無	有
---------------------	---

## 第三者評価結果の概要

### 評価機関総合コメント

歴史のある保育園であり、その実績に裏打ちされた保育サービスの質とその向上への努力は高く評価される。限られたスペースを有効に活用するための工夫や努力が、随所にかがわれる。また、地域との交流・連携の取組みを踏まえ、そのニーズに基づいて積極的に事業が展開されている。今後、アセスメントなどのますますの充実を目指され、地域の保育園としての役割を果たすべく更なる発展を期待したい。

### 特に評価の高い点

理念・基本方針は、職員・保護者へ良く周知され、計画の策定も適切である。計画の評価・見直し、経営状況の把握も適切に実施され、地域との交流・連携にも積極的に取り組んでいる。日常的な保育の実態、個別配慮なども優れている。また、自己評価を数年前から始め、自主的に課題の見直しや検討を行うなど、先駆的な取り組みは高く評価出来る。

### 改善を求められる点

C評価はないが、今後、工夫が期待される点  
ボランティア受け入れを行っているが、受け入れに関する意義・方針が明文化されておらず、マニュアルの整備および研修もなされていない。今後の検討を望みたい。保育計画については充実しているが、計画の根拠となるアセスメントの記録が一部を除き十分に残されていない。そのため、評価・計画・実施の一連の関連性が確認しにくい。また、個別の保育計画策定時には保護者を交えるなどの工夫も期待したい。

## 大項目別の評価概要

### I-1 理念・基本方針

理念・基本方針は明文化され整合性も図られており、職員に対して職員会議・議事録の回覧等で徹底されている。保護者には入所説明会や保護者会等で資料を配布し、説明を行っている。地域に向けても民生委員やふれあいサロン等にパンフレット等で案内を行っている。

### I-2 計画の策定

中長期計画は、現状分析に基づいて課題や問題点を明らかにし、その解決に向けた具体的なものとなっている。実施状況の把握・評価も適切に行われている。保護者に対しても行事計画・クラス便り等で提示がなされている。

### I-3 管理者の責任とリーダーシップ

職務分掌を毎年度見直し、職員に配布することで管理者の責任と役割を明確にし、職員面接・保護者との面談等を通して、自らの役割・行動に対する確認を行っている。コンプライアンスに関して、法令等のリスト化および職員への周知が十分とは言い難く、検討が望まれる。

### II-1 経営状況の把握

経営を取り巻く環境の把握や福祉・保育に関する地域のニーズは、自治体からの情報で適切に収集され、中長期および事業計画に反映されている。定期的コスト分析・在園児の推移等の分析も行われ、中長期および事業計画に反映されて改善すべき課題も周知されている。

### II-2 人材の確保・養成

必要な人材については、プランにもとづいた人事管理が行われているが、人事考課の基準は職員に対し開示されていない。職員要綱・中長期計画に、職員に求める基本姿勢や専門性を明示しているが、個別の職員の知識・技術・技能を把握した上での研修計画とは言い難い。また、研修成果の評価による研修計画の見直しも、現段階では実施されていない。今後の充実を期待したい。実習生受入に関しては、受入の意義・方針の明文化および職員への周知がなされれば申し分ない。

### II-3 安全管理

事故発生対応マニュアルの整備、定期的な安全確保のための検討会、職員に対する研修、危険箇所のチェック等は実施されている。ヒヤリハットの事例収集に努力されたい。

### II-4 地域との交流と連携

地域の高齢者との交流・中高生の職場体験の受入等、積極的に地域との交流を図り、研修や子育て講演を実施するなど、園の機能を地域に還元している。また、関係機関や町内会・民生委員等とも連携を図り、子育てニーズを中長期計画および事業計画に反映出来ている。今後、ボランティアの受入（意義・方針の明文化、マニュアルの整備および研修）や社会資源の活用に関する整備（機能や連絡方法の体系化）が望まれる。

### III-1 利用者本位の福祉サービス

利用者尊重の姿勢は明確で、個々のサービスの標準的な実施方法にも反映されている。プライバシー保護に関する規定は整備され、その内容も妥当である。利用者アンケートは毎年行われ、利用者・職員を対象に一定の実績がある。意見箱は園内に二箇所設置されているが、その周知と活用は工夫を期待したい。利用者からの意見への対応は適切である。全般に適切な対応が行われていると評価する。

## Ⅲ-2 サービスの質の確保

第三者評価制度が始まる前から、保育の質に関する自己評価に取り組んでいる。個々のサービスについての標準的な実施方法については、ゼロ歳児には確認できるが、その他については十分とは言い難い。今後の取り組みを期待したい。質確保へ向けた取り組みを確認出来、その実績も高く評価出来るので、今後の模範的保育園としての活躍を期待したい。

## Ⅲ-3 サービスの開始・継続

提供しているサービスの内容については、ホームページ・パンフレットや配布資料等で行われており適切である。見学等にもよく対応している。サービス利用開始にあたり、説明は口頭で行われているが、保護者などの同意を得ているのは、一時保育・特定保育のみであり、他のサービスでは記録が残らない仕組みである。議論のあるところであろうが、措置であっても利用開始にあたり説明と同意の記録が残る仕組みづくりを期待したい。

## Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

四半期ごとの保育計画はよく策定され、その実施記録も良く出来ているが、計画の背景となるアセスメントが十分とは言えない。一人ひとりのニーズや課題を明確にしていると見受けられるが、アセスメント・計画策定・実施・チェックの一連の流れを確立し、更なる充実を期待したい。

## 付加基準 A-1 子どもの発達援助

保育計画・指導計画などの仕組みがあり、保育環境は建物の老朽化に関わらずよく管理されている。日常的な保育の内容も良好で、障害児保育については外部専門家とも連携するなどしている。育児支援も全体に良好であるなど、保育特有の付加基準についてはよく対応されている。益々の発展を期待したい。

## 付加基準 A-2 子育て支援

育児支援も全体に良好であり、よく工夫され実施している。連絡帳の活用・出席簿へのコメント欄の追加・保護者会の活用等で工夫している。虐待防止についての現場での取り組み内容は適切であるが、発見時の対応や照会・通告等については、内部規定として明文化し職員研修の徹底等も行われたい。

## 付加基準 A-3 安全・事故防止

調理場の衛生管理・食中毒・事故・災害発生時の対応マニュアル等整備されている。事故報告はあり、その要因分析と未然防止策の検討等は具体例もあり、記録も適切である。しかし、ヒヤリ・ハット報告制度がないので検討されたい。

## 付加基準 A-4 子どもの発達・生活援助

体罰防止等よく取り組んでいる。

## 評価細目の第三者評価結果

### 児童福祉分野の評価基準

判 断 基 準 項 目	評価結果
-------------	------

#### 評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針	
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	
I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a
I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a

#### 評価機関コメント

理念・基本方針は明文化され整合性も図られている。内容も具体的であり、職員の行動規範となっている。職員会議等で繰り返し周知が図られ、非常勤職員に対しても議事録の回覧が徹底されている。更に、保護者に対しては入所説明会や保護者会等で資料を配布し、説明を行っている。地域に向けても民生委員やふれあいサロン等にパンフレット等で案内を行っている。

I-2 計画の策定	
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	
I-2-(2)-① 計画の策定が組織的に行われている。	a
I-2-(2)-② 計画が職員や利用者等に周知されている。	a

#### 評価機関コメント

中長期計画は、法人としての計画をベースに、現状分析を踏まえ課題や問題点を明らかにし、その解決に向けた具体的なものとなっている。更に、年度の事業計画に具体的に反映され、その詳細は事業計画に添付の資料および行事計画書に明記されている。また成果は「事業成果」に明記されている。実施状況の把握・評価は職員会議等で随時実施され、12月には必ず見直しが行われていることが、記録より確認できた。保護者に対しても行事計画・クラス便り等で提示がなされている。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ		
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	b
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a
評価機関コメント		
<p>職務分掌を毎年度見直し、職員に配布している。職員面接・保護者との面談等を通して、自らの役割・行動に対する確認を行っている。コンプライアンスに関しては、研修参加・情報収集は行われているが、法令等のリスト化および職員への周知が十分とはいえず、検討が望まれる。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握		
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	b
評価機関コメント		
<p>自治体（特に鹿児島市）からの情報で、経営を取り巻く環境の把握がなされている。福祉や保育に関する地域のニーズおよびデータは適切に収集され、中長期および事業計画に反映されている。定期的コスト分析・在園児の推移等の分析も行われ、中長期および事業計画に反映され、改善すべき課題も職員会議等で周知されている。事業団本部による内部監査は実施されているが、今後は経営改善に資するような外部の専門家の参画を期待したい。</p>		

II-2 人材の確保・養成		
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
II-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	b
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
II-2-(2)-②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
II-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	b
II-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
II-2-(4)-①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	b
II-2-(4)-②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a
評価機関コメント		
<p>必要な人材については「人員配置表」で明確になっており、プランに基づいた人事管理が行われている。勤務評定も実施されているものの、その基準は職員に対し開示されていない。職員の就業状況に関するデータは園長が毎月チェックし、職員との個人面談、園長室の開放等によって意向を確認しながら対応している。また、福利厚生センターに加入している。職員要綱（人材育成）・中長期計画に、職員に求める基本姿勢や専門性を明示している。研修計画も策定され確実に実施されているが、個別の職員の知識・技術・技能を把握した上での研修計画とは言い難い。なお、研修報告書は作成され報告もされているが、研修成果の評価による研修計画の見直しは、現段階では実施されていない。実習生受入に関するマニュアルは整備され、養成校との連携も十分図られている。しかし、受入に関する意義・方針が明文化されておらず、職員への説明が十分とは言いがたい。実習用のプログラムは整備され、効果をあげるための工夫がなされている。</p>		

II-3 安全管理		
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
II-3-(1)-②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b

評価機関コメント		
<p>事故発生対応マニュアルは整備され、職員が参加して定期的に安全確保のための検討会が実施されている。職員に対しての研修も行われ、危険箇所のチェックも実施されているが、ヒヤリハットの事例収集は十分とは言えない。</p>		

II-4 地域との交流と連携		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a
II-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	b
II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	a
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a

評価機関コメント		
<p>地域の高齢者との交流・中高生の職場体験の受入等、積極的に地域との交流を図り、研修や子育て講演の実施等で園の機能を地域に還元している。しかし、ボランティアの受入に関する意義・方針は明文化されておらず、マニュアルの整備および研修もなされていない。保育に関する社会資源は明確にされているが、機能や連絡方法が体系的に整備されていない。関係機関とのネットワークは形成され、共通課題に対しての解決への取り組みが、可能な状況となっている。関係会議のみならず、町内会・民生委員等とも連携を図り、子育てニーズの把握に努め、地域子育て支援事業を展開し、中長期計画および事業計画に反映出来ている。</p>		



評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の上昇に努めている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	a
Ⅲ-1-(2)-②	利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。	a
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	b
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

評価機関コメント

利用者尊重の姿勢は明確で、個々のサービスの標準的な実施方法にも反映されている。基本的人権等についての研修も職員会で行うなど、組織的に行われている。虐待防止についても、着替え時の青あざ確認等よく対応している。なお、プライバシー保護に関する規定は整備され、その内容も妥当である。利用者アンケートは毎年行われ、利用者・職員を対象に一定の実績がある。保護者会は毎年3回行われている。把握した情報は、「園便り」・「クラス便り」の企画や読みやすさに反映するなど、保護者への情報提供や満足度向上に向けた対応が行われている。意見箱は園内に2箇所設置されているが、その周知の仕方については文書による配布も望まれる。保護者が相談したり意見を述べる機会があり、その方法は複数あることの周知を期待したい。第三者委員の選定などは適切であり周知もされている。利用者からの意見への対応は適切である。

Ⅲ-2 サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
Ⅲ-2-(1)-③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	b
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	b
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	b
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

評価機関コメント

第三者評価制度が始まる前から、保育の質に関する自己評価に取り組んでおり、その結果を処遇会議で検討する等の先進的な取り組みがあり、高く評価される。その結果は会議等で課題の検討を行い、チームを作り対応する等の実績がある。今回の第三者評価の結果への対応を含め、今後の活動が期待される。個々のサービスの標準的な実施方法については、ゼロ歳児には確認できるが、その他については十分とは言い難い。より具体的な標準化を期待したい。同一法人が開設する他の保育園と協働して見直したりした実績は評価できるが、自主的な取り組みに終わっているので組織的な取り組みも期待したい。保育の個別記録は、一人ずつ簡潔明瞭によく記載されているが、職員によってバラツキを生じないようにする工夫は十分ではない。工夫されたい。記録の管理はなされているが、管理責任者を明確にされたい。職員間の情報共有は、処遇会議などを通じてよく行われている。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続		
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	b
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b

評価機関コメント		
<p>提供しているサービスの内容については、ホームページ・パンフレットや配布資料等で行われおり適切である。見学等にもよく対応している。しかし、サービス利用開始にあたり説明は口頭で行われているが、保護者などの同意を得ているのは一時保育・特定保育のみであり、他のサービスでは記録が残らない仕組みである。措置ではあるが、利用開始にあたり説明と同意の記録が残る仕組みづくりは必要と思料されるので、検討を望みたい。</p>		

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定		
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	b
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	b
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	b
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	b

評価機関コメント		
<p>ゼロ歳児のアセスメントやサービス計画は概ね適切に行われている。その他についても、アセスメントは行われているが、記録上明確になっていない。四半期ごとの保育計画はよく策定され、その実施記録も良く出来ている。しかし、計画の背景となるアセスメントが記録上確認できないので、見直しを期待したい。一人ひとりのニーズや課題を明確にしていると見受けられるが、一連の流れを確認する手続きが明文化されているとは言い難い。ゼロ歳児に準じて園児全体への対応を期待する。サービス実施計画策定時のチーム的アプローチはあるが、看護師の更なる参加を期待したい。アセスメント・計画策定・実施・チェックの一連の流れの充実を望みたい。</p>		

## 児童福祉分野【保育所】のサービス内容基準（付加基準）

判断基準項目		評価結果
A-1 子どもの発達援助		
1-(1) 発達援助の基本		
A-1-(1)-①	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a
A-1-(1)-②	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
1-(2) 健康管理・食事		
A-1-(2)-①	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
A-1-(2)-②	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-1-(2)-③	歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-1-(2)-④	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
A-1-(2)-⑤	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
A-1-(2)-⑥	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
A-1-(2)-⑦	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
A-1-(2)-⑧	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
1-(3) 保育環境		
A-1-(3)-①	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b
A-1-(3)-②	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	b
1-(4) 保育内容		
A-1-(4)-①	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
A-1-(4)-②	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
A-1-(4)-③	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	b
A-1-(4)-④	身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	a
A-1-(4)-⑤	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a
A-1-(4)-⑥	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
A-1-(4)-⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
A-1-(4)-⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
A-1-(4)-⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-1-(4)-⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	b
A-1-(4)-⑪	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a

評価機関コメント

保育計画・指導計画などの仕組みがある。保育中の健康管理も適切に行われている。健康診断・歯科検診・楽しい食事・喫食状況の把握・家庭との連携・アレルギー疾患への対応等よく行っている。感染症発生時の発生状況の保護者への通知は、適切に行われている。保育環境は、建物の老朽化に関わらず清潔に維持され、事故やケガ防止への工夫も行われており、よく対応されている。床面積や建物構造上制約を受ける部分についても、限られた資源の有効活用を出来る限り行っている。全面建て直しも計画されているので、これらの課題を設計に反映するなどされたい。日常的な保育の中での理解と受容・生活習慣・自発的な活動・自然や社会とのかかわり・表現活動・人権問題等適切に対応している。なお、延長保育の際の夕方の軽食についても、献立等で明示されることが望ましい。障害児保育については、臨床心理士等外部専門家とも連携するなどしている。

A-2 子育て支援

2-(1) 入所児童の保護者の育児支援

A-2-(1)-①	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
A-2-(1)-②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a
A-2-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
A-2-(1)-④	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	b
A-2-(1)-⑤	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	b

2-(2) 一時保育

A-2-(2)-①	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a
-----------	---	---

評価機関コメント

育児支援も全体に良好であり、よく工夫され実施している。連絡帳の活用・出席簿へのコメント欄の追加・保護者会の活用等で工夫している。虐待防止についての現場での取り組み内容は適切であるが、発見時の対応や照会・通告等については、内部規定として明文化し職員研修の徹底等も行われたい。

A-3 安全・事故防止		
3-(1) 安全・事故防止		
A-3-(1)-①	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a
A-3-(1)-②	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	a
A-3-(1)-③	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	b
A-3-(1)-④	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a
A-3-(1)-⑤	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a

評価機関コメント

調理場の衛生管理・食中毒・事故・災害発生時の対応マニュアル等整備されている。事故報告はあり、その要因分析と未然防止策の検討等は具体例もあり、記録も適切である。しかし、ヒヤリ・ハット報告のシステムがないので検討されたい。

A-4 子どもの発達・生活援助		
4-(1) 子どもの発達・生活援助		
A-4-(1)-①	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる	a

評価機関コメント

体罰防止等よく取り組んでいる。